

令和5年度第2回嘉麻市立図書館協議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和5年度第2回嘉麻市立図書館協議会
2. 開催日時 令和5年11月16日(木曜日)午後2時～3時20分
3. 開催場所 嘉麻市立碓井図書館 2階 集会室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
 - (1) 委員
 - ・下川和彦会長・江藤さよ子副会長・森弘成委員・中島暁子委員
 - ・和田君子委員・春口香委員・山口希代子委員
 - (欠席)・・・安藤裕子委員
 - (2) 執行機関
 - ◎ 生涯学習課
 - ・課長(館長) 末永康洋・課長補佐(兼図書・美術館係長) 上野智裕
 - ・主査 有江俊哉・主査 藤原千晶
 - ◎ 指定管理者
 - ・統括責任者 下田富美子・チーフ 藤本あすか
6. 傍聴人数 0人
7. 議題
 - 1) 第6次教育アクションプラン事業シートについて
 - 2) 令和5年度事業経過報告について
 - 3) 令和6年度事業計画について
8. 審議の内容
(会議録の確認者の決定) → 森委員に決定
 - 1) 第6次教育アクションプラン事業シートについて・・・原案のとおり承認
事務局(生涯学習課)から、資料1に基づき補足説明を行った。
(説明要点)
生涯学習課より
 - ・生涯学習課図書・美術館係では、嘉麻市教育基本条例に定める7つの主要施策を柱とした嘉麻市教育振興基本計画(嘉麻市教育アクションプラン)に基づいて各事業を実施しているが、令和5年度をもって第5次計画が終了することから、第6次教育アクションプランを策定することとなった。第6次のアクションプランについては、令和6年度から8年度まで3か年の期間となっている。事務局で作成した別紙事業シートについて、委員の皆様方のご意見を頂戴したい。
 - ・事業シートは、「図書館施設管理運営事業」「読書活動推進事業」「図書ボランティア養成及び活動支援事業」の3事業を継続・発展していきたい。

・「図書館施設管理運営事業」について…

事業の必要性の欄について、追加修正している。また、目標達成にかかる指標については、移動図書館車の項目については、前回まで貸出冊数としていたが、運行を拡大しながら何カ所巡回していくかという方向性を明記した方が良いと考え、ステーション数に変更した。効果については、令和4年度から指定管理者を導入したことから、民間のノウハウを活用して効果的で柔軟な図書館運営が期待できる点について追記した。

・「読書活動推進事業」について…

事業の必要性の欄について、「嘉麻市子ども読書推進計画」に基づいて子どもの発達段階に応じて読書活動を充実させていく必要性について追記した。細事業について、「その他」の部分を追記した。指標の欄の読書講演会参加率の内訳を参加者数÷定員数に修正していただきたい。前回まで講演会参加者数を記載していたが、定員数が行事内容や会場収容人数により変わることから、参加率に変更した。

・「図書ボランティア養成及び活動支援事業」について…

事業の目的及び事業内容の欄を追加修正している。指標については、ボランティア養成講座参加率及びボランティアスキルアップ研修会参加率の内訳を参加者数÷定員数に修正していただきたい。その他、効果の欄を追加修正している。

(質疑)

委員：読書活動推進事業・事業内容の中に、障がい者サービスとあるが、他の資料には、具体的な内容等が書かれているのか。障がいのある方のためのあたたかい図書館を目指すべきという新聞記事を読んだこともあり大切なことと感じている。

事務局：大活字本を揃える等、身体の不自由な方に対してサービスを行っていくものである。前回まで項目として掲載されていなかったため、以前から行っていたサービスについても、あらたに項目を追加している。

委員：図書ボランティア養成及び活動支援事業・指標の中に、ボランティア活動登録者数の数が3年間増加していないが、増える見込みが無いということか。

事務局：市内の様々な団体においても同じ状況だと認識しているが、高齢化が進み活動を辞められる方と新たに加入されるケースがあると思う。登録者数が増えていくことは目標ではあるが最低でも、従来の活動を維持していきながら、確実な数値目標を掲げていくという方針で記載しているところである。嘉麻市において図書ボランティアの活動は、市民の皆様のご協力もあり、国・県の表彰を多数受けており、誇らしい実績を積み上げていると認識している。

委員：図書ボランティア養成及び活動支援事業・事業内容の中に、ボランティア活動支援及び情報提供とあるが、情報提供とはどういった内容か。また、ボランティアを希望している方に対して、活動場所を提供してほしいという思いもある。

事務局：市内外の学習機会である研修会や講座等を案内することやボランティア活動に役立つような情報を発信し、ボランティアに活用していただくことを想

定して、追記している。コロナ禍においてボランティアの活動が停滞していることは承知しており、今後、活躍の場を広げていきたいという思いから、学校に働きかけを行っているところであり、徐々に元のように活動できる環境づくりを整えていきたい。今後とも、ぜひ各種事業にボランティア協力いただきたい。

委員：各事業の指標において、基準値が入っているが、何を基にしている数値か？また、読書講演会参加率の数値については100%を連続して記載しているが、実際には達成がむづかしい数値目標ではないかと感じる。

事務局：令和4年度実績を参考にして数値を掲載している。読書講演会参加率については、目標数値として100%としている。指定管理者において、魅力ある事業を実施しているところや、年度毎に会場収容人数やテーマに併せた定員数を設定することで期待できる数値だと考えている。

委員：移動図書館車の耐久年数について、現行の車で3年後も走行できるものかお尋ねしたい。新規購入する場合は費用が高額となる上、故障した場合についても代用車が無いことも心配である。子どもたちは移動図書館車の運行を楽しみにしているため、途切れることのないようにしてほしい。

事務局：現在一台で運行しているが、走行距離についても安定的な運行に支障がないと考えており、可能な限り現状維持に努めていく。運行によって、新たな利用者の掘り起こしにも活用できるサービスだと考えており、様々なイベントにも参入している。今年は運行開始から30周年を迎え、重点的に事業展開している。運行開始から現在2代目を運行しているが、1代目の車は20年弱運用していたところである。

委員：数値については、根拠を説明できるように作成しておいてほしい。コロナ禍を経過した直後の数値が基準値になっており、数値の設定が難しいところだと考える。前回の会議でもお話ししたが、図書館の利用が減るような要因が増えており、メディアの形態が多様化し変化も激しい中、活字を中心としたサービスの在り方も転換期を迎えている。利用数は全国的に確実に低下している。併せて、嘉麻市においては、令和4年度から指定管理者制度に移行している。数値設定が難しいところであるが、少しでも充実した図書館サービスのための計画を作っていただきたい。

事務局：利用数は低下している中でも、いかに図書館を活用してもらうか、入館者数を増やしていくかということが重要だと考えている。様々な図書館サービスを提供し、利用しやすく市民の憩いの場となるような運営に努める必要があると感じている。

委員：学生が図書館に学習しに行く際、館内にWi-Fi環境が無いために、学生が図書館を利用するのにとても不便だという意見を多数聞いている。学校内でも本を利用してアナログで調べることと併せて、デジタルで調べることは必須条件となっている。Wi-Fi環境が無いということは、学生が図書館を利用しない原因の一つになる。市内の他施設として、嘉穂総合体育館にはWi-Fi環境が整備されているが、図書館に整備されていないことに疑問を感じており、環境改善を検討してほしいと思

う。

事務局：環境整備が不足している点については、ご指摘のとおりだと承知している。実は、早い段階から庁内で環境整備について、調整しているところであるが、課内では手始めに美術館においてWi-Fi環境を整備している。嘉麻市の財政状況として厳しい面もあるが、運用方法を検討することで、より多くの方に利用しやすい環境づくりができるものと考えている。今後も、ご指摘の点について検討を図っていきたい。

2) 令和5年度事業経過報告について・・・原案のとおり承認

事務局（指定管理者）から、資料2に基づき補足説明を行った。

(説明要点)

指定管理者より

- ・令和5年4月から10月までの事業内容を報告。
- ・1pの平均値の数値に修正があり、本日差し替えを配布している。
- ・前年度は、おはなし会を開催しても参加が無い状況が多くあったが、令和5年度以降、参加が少しずつ増えてきている。SNSや公式LINEでの周知も進めている。
- ・おはなし会と比較して、工作会のほうが盛況のようだ。引き続き、声かけを行っていききたい。カウンターで周知するが、習い事等で多忙な子どもも多く、興味があっても参加していただけないケースもあった。
- ・調べる学習コンクール関連行事を開催し、図書館ができることを案内できるように意識した。今年度から調べる学習コンクールを開催し、個人・学校提出分含めて計42点の応募があった。その中から2点を選定し、全国コンクールへ推薦する予定である。
- ・夏のライブラリー・サマー・フェスタは、図書館4館と美術館、碓井郷土館、碓井平和祈念館と一緒にスタンプラリーを開催した。日頃利用する施設以外にも興味関心を持っていただけるよう働きかけした。
- ・図書館の見学については、昨年度より見学受入れ数が増加している。図書館に来館してもらうことで、直接本棚に触れていただく機会となり、カウンターでのスタッフとのコミュニケーションも図られ、図書館の役割を知ってもらうことにつながっている。見学後に、後日家族で来館されるきっかけ作りにもなればと思う。
- ・お出かけプロジェクトは、図書館に来る機会が少ない子どもたちにも読書活動に触れる機会になればという思いで、ブックトークや読み聞かせ等を行っている。
- ・職場体験では、参加した学生たちが作成した本のポップを展示するコーナーを設置する取組も行っている。小学2年生の児童を対象に、カウンターや紙芝居の読み聞かせを体験してもらった後、学校で活動発表するという内容で開催した。
- ・高齢者介護課との連携事業として、10月3日、オレンジサロンにてランプシェードを工作する会を行った。
- ・ボランティア育成のための説明会を開催し、個人面談後に、碓井図書館で修理及び配架ボランティアの研修期間を設けた後、各図書館において実際の活動に入る予定としている。

・特集展示を各館で多様な内容を開催している。高齢者介護課との連携として、ア
ルツハイマー月間の展示を行った。共同で掲示物を展示し、多くの方にご覧いただ
き、資料の貸出にもつながった。

(質疑)

委員：年齢層ごとの図書館利用数を記載している資料はあるか。また、子どもたち
の中に読書する子が少なくなっていることを感じる。

事務局：公表する資料としては無いが、高齢者の方が多く、若い年齢層が少ないとい
う利用状況である。図書館に来館したことが無いという方に対して、いかに図書館に
対して興味を持ってもらうかということについても引き続き検討していきたい。ま
た、県内において筑豊地区は特に読書する子どもが少ないという状況にあるため、今
後、学校・家庭とも連携して、子どもが読書活動に親しむような工夫を行う必要があ
ると考える。

委員：図書館は読書の環境づくりやきっかけ作りで様々な取組を行う必要があ
り、公共施設の中で目的が無くてもふらっと立ち寄れるという希少な施設であ
る。今後も様々な関係部署とつながり、企画事業を展開しながら、活動を広げて
いってほしいという思いがある。

3) 令和6年度事業計画について・・・原案のとおり承認

事務局（指定管理者）から、資料3に基づき補足説明を行った。

(説明要点)

指定管理者より

・嘉麻市内4つの図書館で重点収集に沿って資料を購入しており、有効に蔵書管理
できるように努めている。また、郷土資料については、購入漏れが無いように心が
けている。

・コロナ以降、雑誌の休刊・廃刊が多発しているが、他のあらたな雑誌を購入し、
継続的に利用者に資料提供できるようにしている。

・調べる学習コンクールの事業に伴い、展示コーナーの設置や講座開催等、様々な
取組を行う予定である。また、地域イベントと関連した展示コーナーの設置につ
いても積極的に実施する。知りたいことを調べて、まとめて書くというサイクルの中
で、楽しさを感じてほしい。

・読書環境を整えるために、周りにいる大人が読書に興味を持つことを促すような
働きかけも予定している。どんな本を読んでいいかわからないという保護者に対し
て、図書館で選書した本のセットを展示・貸出する「絵本バッグでお出かけしよ
う」というイベントを開催する。

・読みたくなる、書きたくなる環境づくりの一環として、調べ学習コンクールを実
施する。本を読み、その内容を文章にまとめるという力を育てるとともに、物語以
外の本にも触れて、自らが学ぶ力、調べる力を育てる機会としたい。

・誰でも図書館が使えるというユニバーサルデザインの視点で、様々な補助具や資
料を備えるとともに、関連機関のサービスも活用しながら読書を楽しめる、学べる
という支援を行いたい。

・インスタグラム等のSNSやホームページを活用した広報活動の充実を図り、誰

でも広く図書館の情報を受け取れるようにしていきたい。

・ボランティア活動の説明会や研修会を行い、新規ボランティア（個人登録）の養成に努め、幅広いジャンルの中からその方の希望に沿った活動ができるようにしていく。

(質疑)

委員：障がい者サービスについて、具体的な活動内容は事業計画に掲載していないのか。

事務局：事業計画には具体的に記載していない。障害者差別解消法に基づいて、図書館の基本サービスとして、障がい者サービスを行っていることから、個別のご相談があれば、対応していくこととしたい。大活字本の閲覧・貸出、補助器具としては拡大読書器や音声読み上げ機を備えており、引き続き支援をしていきたい。

委員：移動図書館車の運行時間については、時間変更をしているのか。住居の近くの巡回ステーションに行きたいと思うが、利用しにくい時間帯であるため、利用が難しい。

事務局：平日の運行コースは、巡回施設に事前に調査を行い、運行計画を立てている。土日の運行コースは、概ね個人の方が利用されることから、別途に調査はしていないが、安全面や効率性を考慮して巡回ルートや駐車場所を決めている。何かご意見・ご要望等があれば、図書館へご相談いただければと思う。

委員：図書館の配本サービスがメディアで紹介されていたが、嘉麻市ではそのようなサービスを行っているのか。

事務局：配本サービスは現在のところ行っていないが、移動図書館車の運行の際に、書名等が明確な場合、予約資料として持参している。また、書名が明確でない場合についても、ご希望の内容に沿った本を巡回時に持っていくというサービスも行っているため、お気軽に問合せいただきたい。嘉麻市として、高齢化社会を見据えた上で、各種サービスを含め、関係機関との連携も併せた全体的な計画について、今後検討する時期が来ると考えられる。

委員：福岡県立図書館においても、今年6月に福岡県読書バリアフリー推進計画を策定しており、県全体としての方針について記載しているため、参考にさせていただきたい。

委員：高齢者介護課等との連携もあるようだが、他の関係機関に声かけは行っているか。また、男女共同参画やジェンダーフリー等、世論の分かれている内容についても幅広く資料を収集し、展示コーナーの設置にあたってほしいと思う。

事務局：指定管理者から声かけする場合もあるが、他の関係機関からご相談がある場合もある。高齢者介護課に限らず、今後も広く連携事業に取り組んでいきたい。

3) その他

・行事案内

○嘉麻市人権のつどい

- 嘉麻市碓井平和祈念館・人権コーナー
- 図書館イベント・秋の読書週間事業「夢まつり」(科学あそびワークショップ)
- 図書館イベント・山田ブギウギまつり (おでかけ図書館)

9. 配布資料

- ・令和5年度第2回嘉麻市立図書館協議会次第
- ・資料1 第6次教育アクションプラン事業シート
- ・資料2 令和5年度事業経過報告
- ・資料3 令和6年度事業計画

上記に相違ないことを確認する。

令和5年12月5日

会議録確認者

森 弘 成